

1. 略歴

- 1985年3月 東京大学文学部中国哲学専修課程卒業（文学士）
1987年3月 同 大学院人文科学研究科修士課程修了（中国哲学）
1987年4月 東京大学東洋文化研究所助手（東アジア第一部門）
1992年4月 徳島大学総合科学部講師（総合科学科）
1994年4月 同 助教授（人間社会学科）
1996年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（中国思想文化学）
2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授（中国思想文化学）

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国思想文化史、王権理論の展開および儒教の教化論

b 研究課題

- (1) 中国における朱子学・陽明学の思想的形成と社会的展開。
- (2) 中国皇帝制秩序を支える王権儀礼とその理論。
- (3) 日本における儒教思想の流入とその社会的効果。

c 主要業績

(1) 論文

小島 毅、「藤田東湖における道の公共性——「弘道館記述義」私解」、『公共する人間3 横井小楠 公共の政を首唱した開国の志士』、pp.157-181、2010.9

小島 毅、「儒教経学と王権」、『アジア遊学』、151、pp. 52-64、2012.3

(2) 啓蒙

小島 毅、「東アジアの文化伝統と兼統」、『直江兼統——人と時代』、pp. 325-328、2010.3

小島 毅、「江戸時代儒学思想の受容と岡山」、『温故知新——中国と岡山』、pp. 5-28、2010.3

小島 毅、「中国生まれの志士的思想」、『歴史読本』、864、pp. 134-139、2010.6

小島 毅、「朱子学・陽明学の日本的受容と幕末維新——現代の鑑としての歴史に学ぶ」、『人間会議』、23、pp. 119-125、2011.6

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師：岩手大学教育学部（2010-2011年度）、東北大学文学部（2010年度）、慶應義塾大学文学部（2011年度）、九州大学文学部（2011年度）

(2) 学会

中国社会文化学会理事（2010-2011年度）、財団法人東方学会評議員（2010年度）、日本中国学会評議員（2010-2011年度）、日本学術会議連携会員（2010-2011年度）